

2022年9月8日

各 位

会 社 名 株式会社コーセーアールイー
代 表 者 代表取締役社長 諸藤 敏一
(コード番号：3246 東証スタンダード市場・福証)
問 合 せ 先 取締役管理部長 土橋 一仁
(TEL：092-722-6677)

第2四半期(累計)連結業績予想と実績の差異及び
第2四半期(累計)連結業績予想の公表の廃止に関するお知らせ

2022年3月14日に公表いたしました2023年1月期第2四半期(累計)連結業績予想値と実績値との差異について、下記のとおりお知らせします。また、第2四半期(累計)連結業績予想について2024年1月期分から公表を廃止しますので、あわせてお知らせします。

記

2023年1月期第2四半期(累計)連結業績予想数値と実績値の差異(2022年2月1日～2022年7月31日)

(単位：百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する四半期純利益	1株当たり四半期純利益
前回発表予想(A)	2,642	22	144	98	9円65銭
実績値(B)	2,438	82	208	134	13円29銭
増減額(B-A)	△203	60	64	36	—
増減率(%)	△7.7	273.1	45.0	37.7	—
(ご参考)前期第2四半期実績(2022年1月期第2四半期)	7,409	852	919	638	62円86銭

《差異の理由》

ファミリーマンション(第4四半期に完成引渡予定)の販売が順調に推移したことにより、販売費が抑制できたことに加え、資産運用型マンション販売における販売費の使用が遅れたことが、営業利益、経常利益、親会社株主に帰属する四半期純利益が増加した主な要因であります。また、当期の物件の完成及び完成に伴う引渡が第4四半期に集中していることから、第2四半期(累計)における利益が小さく、増減額に比べて、増加率が過大になっております。

通期連結業績予想につきましては、販売の遅れ分の今期中の引渡を予定しており、現時点で前回予想からの変更はありませんが、修正が必要な事象が生じた場合は速やかに開示をいたします。

なお、当社の不動産販売事業において、売上の計上時期が物件の完成・引渡に左右されるため、第2四半期における売上高や利益が当社の経営成績を表しているとは言えず、第2四半期(累計)連結業績予想を発表することによって、投資者へ誤解を招くメッセージとなり、適切な投資判断材料と言えないことから、次回以降の第2四半期(累計)連結業績予想の公表を廃止いたします。通期連結業績予想の公表については引き続き決算短信発表時に実施いたします。

以上